回覧

となみイースト新聞

R3.9月号

コロナに負けない『気にかけあう地域づくり』

コロナ禍で外出しにくい・集まりにくい環境が長引いていますが、みなさんどのようにお過ごしでしょうか。今回は他の地域の方々がどのように過ごしているか紹介します。（太田市のアンケート調査より）

気にかけあい、声をかけ合う交流が行われています！

コロナ禍で見えてきた「普段からの気にかけ合い」を活かす視点。

コロナ禍でサロンなどの通いの場は活動自粛となっていますが、感染予防に配慮をしながら、身近な仲間とマスクをしてのおしゃべりや井戸端会議、電話のかけ合いやおすそ分けで交流、また地域の行事が全て中止になったので、町内の神社の改修を竹馬の友で行ったり、朝集まりラジオ体操会を近所の人が数人で行う屋外での運動など、人との繋がりや運動、体を動かすことを心がけ、お互い気にかけ、声をかけ合い、「少人数で集まって出来ることをする」が広がっています。

大人数での集まりは減りましたが、ご近所同士の繋がりが深まっています。

元気で長生きする人に共通する生活習慣は

『きょういく』 と 『きょうよう』 です

↓ ↓

今日、行く所がある。今日、用事がある。

人と人が顔を合わせる機会が増え、つながることから「気になる存在」が生まれ、それが「気にかけ合う仲」となって、ちょっと困ったことがあると「支え合い」の関係へと発展していきます。ご近所が気になるいつも顔を合わせる仲間（サロン仲間や趣味仲間など）が気になる。友人・知人が気になる。外出が制限されるコロナ禍では、孤立や孤独を防ぐために、気になる人に連絡を取ったり、時には少し距離を取ってマスクをかけてお話したり、それぞれが出来る気遣いをすることが大切になります。

感染予防対策

①家族以外の人と接する場合は屋内でもマスクを着用しましょう。

②毎日体温を測り、37℃以上の時は人との接触や外出を控えましょう。

コロナに負けない地域づくりは、人と人との繋がりを大切にし孤立しない・させない絆をつくることでもあります。コロナが収束し、みんなで集まれるようになるまで、ご近所さん同士声をかけあい・気にかけあいながら絆を深めていきましょう！

担当：沼田市在宅介護支援センターゆうゆう・うちだ
連絡先：0278－22－8400

発行人：となみイーストスマイル代表
栃原茂男

代表からひとこと

自然災害や感染症の脅威について、他人事ではなく自分の身にも起こりうるという意識をもって、身を守るための実効性のある行動についてみなさんと考えていきたいと思います。何よりも大切な普段の生活を守るために。

佐藤　澤野

担当地区の生活支援コーディネーターが交代しました。よろしくお願いします。

回覧

まちなかきずな新聞

R3.9月号

コロナに負けない『気にかけあう地域づくり』

コロナ禍で外出しにくい・集まりにくい環境が長引いていますが、みなさんどのようにお過ごしでしょうか。今回は他の地域の方々がどのように過ごしているか紹介します。（太田市のアンケート調査より）

気にかけあい、声をかけ合う交流が行われています！

コロナ禍で見えてきた「普段からの気にかけ合い」を活かす視点。

コロナ禍でサロンなどの通いの場は活動自粛となっていますが、感染予防に配慮をしながら、身近な仲間とマスクをしてのおしゃべりや井戸端会議、電話のかけ合いやおすそ分けで交流、また地域の行事が全て中止になったので、町内の神社の改修を竹馬の友で行ったり、朝集まりラジオ体操会を近所の人が数人で行う屋外での運動など、人との繋がりや運動、体を動かすことを心がけ、お互いに気にかけ、声をかけ合い、「少人数で集まって出来ることをする」が広がっています。

大人数での集まりは減りましたが、ご近所同士の繋がりが深まっています。

元気で長生きする人に共通する生活習慣は

『きょういく』 と 『きょうよう』 です

↓ ↓

今日、行く所がある。今日、用事がある。

人と人が顔を合わせる機会が増え、つながることから「気になる存在」が生まれ、それが「気にかけ合う仲」となって、ちょっと困ったことがあると「支え合い」の関係へと発展していきます。ご近所が気になる、いつも顔を合わせる仲間（サロン仲間や趣味仲間など）が気になる。友人・知人が気になる。外出が制限されるコロナ禍では、孤立や孤独を防ぐために、気になる人に連絡を取ったり、声をかけたり、時には少し距離を取ってマスクをかけてお話したり、それぞれが出来る気遣いをすることが大切になります。

感染予防対策

①家族以外の人と接する場合は屋内でもマスクを着用しましょう。

②毎日体温を測り、37℃以上の時は人との接触や外出を控えましょう。

コロナに負けない地域づくりは、人と人との繋がりを大切にし孤立しない・させない絆をつくることでもあります。コロナが収束し、みんなで集まれるようになるまで、ご近所さん同士声をかけあい・気にかけあいながら絆を深めていきましょう！

担当：沼田市在宅介護支援センターゆうゆう・うちだ
連絡先：0278－22－8400

発行人：まちなかきずなの会代表
森田經代

代表からひとこと

まちなかに誰でも気軽に行ける場所があって、自然に集い人と会って話をしたり、好きなことを楽しく続ける場所をつくっていきたいですね。できれば3箇所、災害にも対応できる場所が目標です。コロナ禍でなかなか集まりにくい状況が続いていますが、出来ることからやっていきましょう。

佐藤　澤野

担当地区の生活支援コーディネーターが交代しました。よろしくお願いします。

コロナに負けない『気にかけあう地域づくり』

回覧

升形協力隊新聞
R3.9月号

コロナ禍で外出しにくい・集まりにくい環境が長引いていますが、みなさんどのようにお過ごしでしょうか。今回は他の地域の方々がどのように過ごしているか紹介します。（太田市のアンケート調査より）

気にかけあい、声をかけ合う交流が行われています！

コロナ禍で見えてきた「普段からの気にかけ合い」を活かす視点。

コロナ禍でサロンなどの通いの場は活動自粛となっていますが、感染予防に配慮をしながら、身近な仲間とマスクをしてのおしゃべりや井戸端会議、電話のかけ合いやおすそ分けで交流、また地域の行事が全て中止になったので、町内の神社の改修を竹馬の友で行った、朝集まりラジオ体操会を近所の人が数人で行う屋外での運動など、人との繋がりや運動、体を動かすことを心がけ、お互いに気にかけ、声をかけ合い、「少人数で集まって出来ることをする」が広がっています。

大人数での集まりは減りましたが、ご近所同士の繋がりが深まっています。

元気で長生きする人に共通する生活習慣は

『きょういく』と『きょうよう』です

↓　↓

今日、行く所がある。今日、用事がある。

人と人が顔を合わせる機会が増え、つながることから「気になる存在」が生まれ、それが「気にかけ合う仲」となって、ちょっと困ったことがあると「支え合い」の関係へと発展していきます。ご近所が気になるいつも顔を合わせる仲間（サロン仲間など）が気になる。友人・知人が気になる。外出が制限されるコロナ禍では、孤立や孤独を防ぐために、気になる人に連絡を取ったり、声をかけたり、時には少し距離を取ってマスクをかけてお話したり、それぞれが出来る気遣いをすることが大切になります。

感染予防対策
①家族以外の人と接する場合は屋内でもマスクを着用しましょう。
②毎日体温を測り、37℃以上の時は人との接触や外出を控えましょう。

コロナに負けない地域づくりは、人と人との繋がりを大切にし孤立しない・させない絆をつくることでもあります。コロナが収束し、みんなで集まれるようになるまで、ご近所さん同士声をかけあい・気にかけあいながら絆を深めていきましょう！

担当：沼田市在宅介護支援センターゆうゆう・うちだ
連絡先：0278－22－8400

発行年月日
2021年９月号
発行人
升形協力隊代表
角田泰夫

代表からひとこと

枡形協力隊は、みんなの力を合せて取り組むことをモットーとしています。防災対策に取り組んだり一人暮らしの方も安心して暮らせる地区にしていきましょう。コロナ禍でなかなか集まりにくい状況が続いていますが、出来ることからやっていきましょう。

佐藤　澤野

担当地区の生活支援コーディネーターが交代しました。よろしくお願いします。